

7がっひかりごう

令和 7 年7月1日 輝 保 育 園

雨が続いたかと思うと、夏のような暑さの日もあり、体調管理が難しい日々が続いています。 疲れがたまると、体調を崩しやすくなるので、気を付けて過ごしましょう。 今月からはプール活動も始まり、心も身体も開放的になります。 1, 2才児は水の気持ち良さを感じながら遊ぶことを楽しみ、3才以上児は友達と楽しさを共有し、水遊びでのルールも理解していきます。 子どもたちの楽しむ様子を見るのが楽しみです。 暑さが厳しくなってきます。 熱中症や脱水症状など子どもたちの体調にも気をつけながら活動に取り組んでいきます。

(((お 願 い)))

副食費、絵本、延長保育料、体操服など、保育園を通じて購入、支払いをされる方があるかと思います。 その際は、お釣りの無いようお願い致します。 又、複数の支払いをまとめるのはおやめ下さい。 夫々の袋に、お釣りの無いように入れて保育士に渡してください。

★ プール・水遊び★

7月7日からプール活動を始めます。

プールカードは、毎日、保護者のサインが必要です。 サインがないとプールに入ることができません。 毎朝、子どもさんの健康状態、皮膚の状態等をみて、保護者の方がサインをして下さい。 プール活動、水遊びは、体力を消耗します。 ご家庭でも、十分な健康管理をお願い致します。



= 7 月の行事予定 =

30日(月)～4日(金) 3・5才児 保育参観
7日(月) プール開始
8日(火) 避難訓練
25日(金) 身体測定、誕生会

=== ナース・レポート ===

【熱中症はどのようにして起こるのでしょうか？】

熱中症とは、高温多湿な環境で体温調節がうまく機能しなくなり、体内に熱がこもってしまう状態を指します。体温が異常に上昇し、水分や塩分のバランスが崩れることで、さまざまな症状が現れ、死に至る可能性のある病態です。 熱中症を引き起こす条件は「環境」と「からだ」と「行動」によるものが考えられます。「環境」の要因は気温が高い、湿度が高い、風が弱いなど。「からだ」の要因は体温調整機能が低下している高齢者や体温調整機能が十分に発達していない乳幼児、寝不足といった体調不良など。「行動」の要因は激しい運動や屋外作業など。これら3つの要因により、汗や皮膚温度で体温が調整できず体温上昇、身体のバランスが破綻し熱中症となります。

環境省 熱中症予防情報サイトより引用

今年2025年の日本の夏は、また「**猛暑**」になる**見込み**で、気温、湿度に輻射熱を加え熱中症が起きる危険度を示した「**暑さ指数**」（WBGT）の活用が推奨されています。園でもWBGT測定器を活用し、環境配慮し、水分摂取を促して熱中症予防に取り組んでいます。睡眠不足や体調不良も大きな要因となります。病後は体力がしっかり回復するまで様子を見ましょう。

《《《 お 願 い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。 名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起 をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。



☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

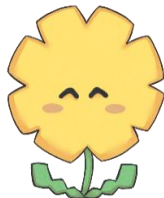
コミュニケーション (ほめ方)

1. ほめることの意義
人は誰でもほめられるとうれしいものです。 子どもの場合は特にそうです。そして、そのうれしいという気持ちは、心を和ませ、子どもの自尊感情や前向きに取り組もうとする意欲を高め、自らを向上させようとする力になります。自尊感情が高い子どもたちの場合、ほめられたことの「ある」子の割合がよく、「時々」を合わせて 95.0 % にも達しています。このように、ほめることには子どもの自尊感情を高めるうえで大きな効果があるのです。ところが、日本の場合、大人はほめることには消極的です。ほめるよりもむしろ欠点や直したいところに目を向け、叱ったり、注意して育てようとする傾向が強くあります。良くないことをすれば、叱るのは当然ですが、それだけだと子どもたちの心を萎縮させてしまうばかりになりかねません。ぜひ、日常生活の中に子どもの良さを見つけ、「ほめる」割合を増やして子どもを育てていきましょう。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

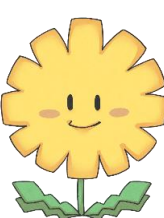
こどもたちのようす

たんぽぽぐみ
0才児



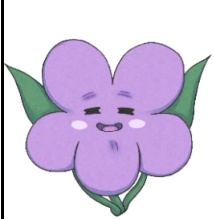
みんなが楽しみにしている食事の時間。 ランチルームで給食の準備が始まると声を上げたり、「早く。」と柵を揺らし訴える様子も見られます。 おやつや給食の時間には手掴み食べや、スプーンで食べてみたりと意欲的な姿が見られます。 手掴み食べは食材の触感を知り、食べ物への関心につながります。自分の意思で食べようとし、正しい位置へ手を伸ばし、手に取り口へ運ぶことで目と手と口が連動する動作を育てていきます。 この経験をたくさん積むことで食べ物 の性質を知り、自分に適した一口量を知り、食べる意欲へ繋がっていきます。 手掴み食べをたくさん経験する事は、スプーンやお箸といった食具を使う上で大切な経験となります。 大変な時期ではありますがたくさんの経験を重ねていけるように見守ってあげてくださいね。

たんぽぽぐみ
1才児



歌が好きな子どもたちが多く、朝のお集まりのときにたくさん の歌を歌っています。 保育者の「何歌う?」の声かけにおしゃべりが上手になった子どもたちは、歌いたい歌を声に出してリクエストします。「キラー」と言い、「きらきら星」だったり、両手を胸の前で回して「コロコロ～」と言い、「どんぐりころころ」だったり、その他にも子どもたちの好きな歌は、「ちゅうりっぷ」「トントン、アンパンマンのうた」「かえるのうた」と様々です。 声に出して歌ったり、振り付けをしていたり、歌い終わると、声を出して喜んだり、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしています。 今月もたくさんの歌に触れながら朝のお集まりをおこなっていきます。 7 月からは水遊びが始まります。 体調や皮膚状態に気をつけ、水遊びを楽しみたいと考えています。 カードの記入、準備等よろしくお願い致します。

すみれぐみ
2才児



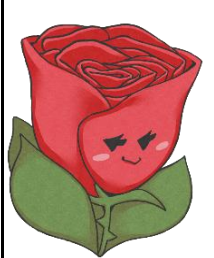
蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をいっぱいかきながらも夢中になって色々な遊びを楽しんでいます。 ままごと遊びでは、道具を色々な食材に見立て、イメージを膨らませています。 また、普段の生活で経験したことを言葉にし、 友だちや保育士と言葉のやり取りも楽しんでいます。 友だちとの関わりが出てくると、色々なぶつかり合いもできます。 ぶつかり合うことは、自分以外の他者の存在や思いに気づいたり、順番を守ることや、物の譲り合いができたりと、社会性を身に着ける大切な経験です。 すみれぐみの子ども達も、自分の思いと葛藤しながらも、譲り合う姿が見られるようになってきました。 2歳児は、人間関係を築く第一歩を踏み出す時期です。 まだまだ、相手の気持ちを考えて行動することは難しいですが、これから友だちとの関わりを通し、保育士を仲立ちとしながら、一緒に遊ぶ楽しさをたくさん経験してほしいと考えています。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



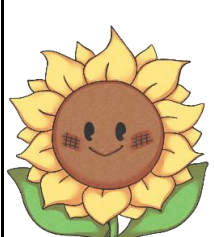
年長組が育てている夏野菜に興味津々の子ども達。きゅうりの葉っぱをそっと触って「シャリシャリする」とびっくり。野菜がどのように育つのか知らない子も多く、実が大きくなる様子を楽しみに観察しています。給食では、食事前にスプーンの持ち方（三点支持）の確認をしています。きちんと持つことができる子もいますが、続かずに持ち替えたり、中指がスプーンの上側にあったりする子もいます。この中指の位置は今後箸に移行するときに重要になりますので、家庭でも確認をお願いします。 7月はプール活動が始まります。暑い時期の水遊びは子どもたちも大好きですが、プール活動は楽しいだけでなく、約束を守らないと重大な事故につながる場合もあります。安全に遊ぶためにしっかりと約束をして、楽しく夏を過ごしていきます。

ばらぐみ
4才児



先日はお忙しいなか参観いただきありがとうございました。朝のお集まりに、言葉×自己表現の経験として「自己紹介」を取り入れています。自分の名前の後に伝えたい内容を一言添える、といった形式です。始めたばかりの頃は「元気です」「ちゅっと鼻水出てます」などの体調面を伝える事が多かったのですが、次第に「元気 1 0 0 倍です！」「元気いっぱいやってます！」など言葉が豊かになり、さらに元気ポーズの動作をつけるなど個性豊かな表現が見られるようになってきました。今では朝食や休みの日の出来事が加わり始め、伝えたい内容が広がっています。6才を迎える頃には文脈を作って説明することができるようになり、これが書き言葉の基礎になると言われています。自己紹介を通し、伝える喜びや伝わる喜びをたくさん感じてくれたら嬉しいです。

ひまわりぐみ
5才児



夏野菜の収穫期がやってきました。梅雨にも関わらず、あまり雨が降らない日が続いて、せっかく成長していた野菜が枯れてしまったので、とても心配していました。朝夕に水やりを頑張りと、やっとまた野菜が枯れずに成長するようになったので、ひと安心です。しかし、野菜の成長には他のクラスの子も友達も関心をもって、よく見に来ているので、触って取れてしまわないかも心配な様子で「見るだけでよ」と声をかけながら、大切に育てています。また、運動会へ向けて鼓隊の練習を始めました。みんなで覚えたりリズムを太鼓で叩いていて、自信をもって叩く子、自信のない表情で友だちを見ながら叩く子、間違えながらも最後まで頑張る子など様々です。「トリオは重いからしない」と言う姿は意外でした。根気強く取り組んでいます。